



葛西会長の原発推進発言に抗議する！

JR東海葛西会長は、5月24日に原発について「リスクを承知のうえで、覚悟が必要」「原発継続しか活路はない」という主張を産経新聞誌に載せました。

これまで原子力発電は、クリーンで低コストの自前電力を確保する、国策の切り札として推進されてきました。葛西会長は「原子力を利用する以上、リスクを承知のうえで、それを克服・制御する国民的な覚悟が必要である。現場の安全対策に生かせる貴重な教訓も得られた。今回得られた教訓を生かして即応体制を強化しつつ、腹を据えてこれまで通り原子力を利用し続ける以外に日本の活路はない。政府は稼働できる原発をすべて稼働させて、電力の安定供給を堅持する方針を宣言し、政府の責任で速やかに稼働させるべきだ」などの主張を行っています。

東日本大震災によって引き起こされた福島第一原子力発電所の事故は、地元住民のみなさんをはじめ、日本のみならず世界的にも放射能被害を発生させました。しかも、未だに福島第一原発事故は収束どころか深刻さを増すばかりです。今までクリーンな燃料であるといわれてきたものが、これほどの汚物であるということが、今地元住民のみならず全世界の人に認識されました。

このような状況のなか、日本においても浜岡原発の全面停止。世界ではイタリアの国民投票結果など脱原発の流れが大きくなってきています。最近の世論調査においても、国内の52基の原発を廃炉にすることに賛成した人が82%にもなっています。しかし、葛西会長は脱原発の世論を無視し、原発の危険性を無視し、被災者のみなさんの切実な声も無視して、原発推進側に立った無責任極まりない主張をしています。

私たちは葛西会長の無責任な原発問題に対する主張は断じて認めることができません。私たちは葛西会長の原発問題に対する主張の撤回を求めます。